



第3号様式 (第13条)

函館市IT・ロボット等活用生産性向上補助金等実績報告書

令和3年(2021年)2月9日

函館市長様

住所 函館市西桔梗町855番地1
申請者 氏名または団体名 株式会社 キタジマ
および代表者氏名 代表取締役 北島 孝雄

令和2年(2020年)10月30日付け函経工をもって補助金等の交付決定を受けた下記の補助対象事業は、令和3年(2021年)1月29日に完了したので、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 補助対象事業の種類 (該当する番号を○で囲むこと。)
① 専門家派遣型IT・ロボット等設備導入支援事業
(2) IT・ロボット等活用共同研究支援事業

2 補助対象事業の名称 体温検知付AIカメラ導入による、食の安全・安心の徹底

3 補助金等交付決定通知額 金 407,000円

4 補助金振込先 (申請者の口座)

銀行名	支店名	口座の種類	口座番号
[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
口座名義	(カナ) [REDACTED]		

5 実績書 別紙1のとおり

6 収支決算書 別紙2のとおり

実績書

事業の名称	体温検知付 A I カメラ導入による、食の安全・安心の徹底
実施内容	H A C C P や新型コロナウイルス感染症への対応・対策として、従事者衛生管理記録と A I サーモカメラ体温検知を合わせた管理システムを導入した。
期待される効果	工場入退室時の手書きによる記入が不要となり、体温も自動で測定される為、確認のための立ち合いが不要となるほか、管理記録表が紙からデジタルへ変わり、記録がデータとして残るため、ペーパーレスに繋がるなど、管理業務の R P A 化による生産性の向上が期待される。 また今後のコロナ対策にも有効的であり、職場環境や函館市内の小中学校へ食品を提供する際の安全性や安心感の向上にも繋がると考えられる。
今後の展開について	今回の導入を契機に管理業務の効率化を進め、社内の従事者衛生管理やコロナ対策などに効果的に取り組みたい。
研究者の協力内容 (共同研究支援事業の場合)	

- (注) 1. 実績書の内容について、詳細に記載すること。(別紙も可)
2. 導入した商品の写真および概要のわかる資料ならびにその他必要と認められた書類を添付すること。

収支決算書

収入の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち補助 対象事業		うち補助 対象事業		うち補助 対象事業	
自己資金	408,000	408,000	408,000	408,000	0	0	北海道インダ樹より 体温検知機能付 AI カ メラ一式
市補助金	407,000	407,000	407,000	407,000	0	0	
合 計	815,000	815,000	815,000	815,000	0	0	

支出の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち補助 対象事業		うち補助 対象事業		うち補助 対象事業	
体温検知機能 付AIカメラ	385,000	385,000	385,000	385,000	0	0	カメラ及び背面ブラ ケット
ノートPC 一式	100,000	100,000	100,000	100,000	0	0	システム用PC
入場管理シス テム	270,000	270,000	270,000	270,000	0	0	
付帯工事	60,000	60,000	60,000	60,000	0	0	LAN電源工事
合 計	815,000	815,000	815,000	815,000	0	0	

収支差引額 0 円

注) 1. 金額については、すべて消費税および地方消費税相当額を除いた額で記載すること。